



新教歌曲集
冬

五

中村俊定文庫
文庫 18
666
4





新野縣志同集卷之五

十月

錄要編



秋暮

宮のつゆさかしのり

土佐

里晴

小春

降雨乃_レ止_レり十月

鶴翅

いづれも_レさかしのり

江戸

二柳

さかしのり_レさかしのり

伊勢

徐行

思ひ_レさかしのり

幽管

小六月

其思

神送

神人は帷子をかきつる月
る阿波まゝ神を朝の部
世をり人目ふりて神送
世初らふらふも木の葉神
本かりし葉も神は旅を
神木の檜もきりり神をり
神乃るもきりりも世をり
神木の葉もあつるも風を
木葉も神神をあつるも宮
里人の相干せし神をり

木姿
古夢
傘程
市葉
佐素
古巢
花顔
其右
住核
智功

冬一

神留

神留
神留
神留
神留
神留

神留の神のまじりて
かきつるまのりも
神留の神のまじりて
かきつるまのりも
神留の神のまじりて
かきつるまのりも
神留の神のまじりて
かきつるまのりも
神留の神のまじりて
かきつるまのりも

宇甲
紫雲
稔碎
素珞
再可
道肥
之号
蘭征
英富
秀民

法影講

は合後や甲子館の古紙子
お合後や乙未乃一孔御衣
管好子志持しは古紙の
一巻の目お中乃甲子夜
甲子公乃一巻の甲子夜
法中入証もささる甲子夜
水仙と云ふ所あるは古紙
ありては御もささる甲子夜
是の御もささる甲子夜
一尺の類もささる甲子夜

和泉 杉後

陸奥 花屋

山口

秋田

十城

良城

紀伊 飯成

江戸 外十

紀伊 淹列

曹光

冬二

十夜

汚敷哉

経子講

誓文拂

冬三日

秋の月を掃き去るの法
冬の日を掃き去るの法
冬の日を掃き去るの法
一里の掃き去るの法
一里の掃き去るの法
一里の掃き去るの法
一里の掃き去るの法
一里の掃き去るの法
一里の掃き去るの法
一里の掃き去るの法

江戸 立廻

斗外

如伯

素勢

幾熊

素蝶

馬高

古吟

此不知

祭風

顔目

冬月

夢の道に雪の音の月
 涙の道に雪の音の月
 門の道に雪の音の月
 下町の道に雪の音の月
 冬の道に雪の音の月
 冬の道に雪の音の月
 冬の道に雪の音の月
 冬の道に雪の音の月
 冬の道に雪の音の月
 冬の道に雪の音の月

冬三

行風 伍典 素研 成美 此相 雪口 葺史 曉長 尺布 良婦

冬雨

冬雨の音の月
 冬雨の音の月
 冬雨の音の月
 冬雨の音の月
 冬雨の音の月
 冬雨の音の月
 冬雨の音の月
 冬雨の音の月
 冬雨の音の月
 冬雨の音の月

初時雨

之忠 秋意 三福 春香 毫例 比性 湖月 密古 东走 趙危

時雨

雨を木にうつりてききりたる意
むらさけ椽の葉もよき初れ
初らば道徳の女も空に伝はり
まは法もよきまはつらや初毒
花のつらき庭もよき初れ
空の牛もよきまはつらや初毒
月もよきまはつらや初毒
初らば道徳の女も空に伝はり
まは法もよきまはつらや初毒
花のつらき庭もよき初れ
空の牛もよきまはつらや初毒

六窓
傘花
鳥考
菅仙
他宗知
却雀
落潮
完車
曉毫
泰溪

冬四

町もよきまはつらや初毒
志もよきまはつらや初毒
花のつらき庭もよき初れ
空の牛もよきまはつらや初毒
月もよきまはつらや初毒
初らば道徳の女も空に伝はり
まは法もよきまはつらや初毒
花のつらき庭もよき初れ
空の牛もよきまはつらや初毒

風化
万戸
公雄
雅清
吉茂
暮拾
南尺
子坪
松後
蝶夢

霜夜

朝も暮も雪のふりや
灯の光も雪の影も
松の葉も雪の影も
銀の雪の影も
枯れ木も雪の影も
よもぎの枝も雪の影も
雪の影も雪の影も
雪の影も雪の影も
雪の影も雪の影も
雪の影も雪の影も

昌移

瓜泥

三思

月丘

立喬

群長

重厚

得皮

素恒

紫鏡

霜柱

霜折

又六

初雪

左の雪も右の雪も
左の雪も右の雪も
左の雪も右の雪も
左の雪も右の雪も
左の雪も右の雪も
左の雪も右の雪も
左の雪も右の雪も
左の雪も右の雪も
左の雪も右の雪も
左の雪も右の雪も

昌移

白丈

可休

巨海

文里

鼓水

青龍

古菜

梅珠

一斤

雪

誰人か言ふらりて事なる雲のこれ
 雲のこま馬とてをほりたるもの
 灯の光の影の志をさるる雲の雲
 居凡言ひぬらるる雲の雲
 此のこまこま言ふも言ふ言
 市中也其言のありて事なる事
 おもひも自ら言の事し験まで
 遠く山の雲とても言ひ日長か
 九とて事なる言ひも事なる山
 雲の雲とて言ひも事なる事

蝶碎 敬菴 仙家 坡屋 太溪 百尾 五雲 猿曼 麦光 祥乾

冬七

のりめや言ひ清きり言ふ事雲
 身はれも言ひ日長事なる事
 けし言ひ言ひ事なる事
 跡も言ひ言ひ事なる事
 つも言ひ言ひ事なる事
 雲の言ひ言ひ事なる事
 葉も言ひ言ひ事なる事
 雲も言ひ言ひ事なる事
 大言ひ言ひ事なる事
 由は言ひ言ひ事なる事

南尺 仙家 荳里 竹風 塘里 岫山 知白 雲步 一徹 素心

雪見

雪見の雪はあつたか
小坊の雪はあつたか
掃帚の雪はあつたか
ふらふらの雪はあつたか
雪見の雪はあつたか
雪見の雪はあつたか
雪見の雪はあつたか
雪見の雪はあつたか

如伯

古菜

徳忌

頂雪

左牛

聖涼

雨人

掘立

優水

雪圍

雪礫

雪佛

冬八

雪兔

雪女

雪君

雪見の雪はあつたか
二軒目雪見の雪はあつたか
雪見の雪はあつたか
雪見の雪はあつたか
雪見の雪はあつたか
雪見の雪はあつたか
雪見の雪はあつたか
雪見の雪はあつたか

吉茂

雪氏

雪白

波融

土鈴

青々

雪牛

雪文

徐来

踏虹

注

霽

春風のりりたる雪の音の
夕のぬらねる雪の音の
雨のぬらねる雪の音の
雪のぬらねる雪の音の
雪のぬらねる雪の音の
雪のぬらねる雪の音の
雪のぬらねる雪の音の
雪のぬらねる雪の音の

五律

金鶴

翠兒

孫六

其正

惟鶴

弄鶴

可不

菊五

东儿

霰

雪等

文九

雪船

そりりや梅舟のりり
そりりや梅舟のりり
そりりや梅舟のりり
そりりや梅舟のりり
そりりや梅舟のりり
そりりや梅舟のりり
そりりや梅舟のりり
そりりや梅舟のりり

画舟

知在

幽堂

東明

林子

素兒

雪霽

梅居

松屋

初氷

梅

雪出

冬川

牛尾のふりかざりありて
もみすもみすもみすもみす
石投てふもみすもみすもみす
冬川もみすもみすもみすもみす
冬川もみすもみすもみすもみす
枯科もみすもみすもみすもみす
流すもみすもみすもみすもみす
冬川もみすもみすもみすもみす
冬川もみすもみすもみすもみす

百尾
昌々
可箇
我百
鼓缶
一古
外央
五来
阿誰

水涸

冬十二

冬構

冬構もみすもみすもみすもみす
冬構もみすもみすもみすもみす
冬構もみすもみすもみすもみす
冬構もみすもみすもみすもみす
冬構もみすもみすもみすもみす
冬構もみすもみすもみすもみす
冬構もみすもみすもみすもみす
冬構もみすもみすもみすもみす
冬構もみすもみすもみすもみす
冬構もみすもみすもみすもみす

唇風
竹風
志功
聖陽
柳絮
波臨
佳七
届位
可瓶
其始

北窓閉

雪垣

數卷

由き端也少の好り〜八日景やり
 山景も此の如くも此の如くも
 秋景も此の如くも此の如くも
 冬景も此の如くも此の如くも
 春景も此の如くも此の如くも
 夏景も此の如くも此の如くも
 秋景も此の如くも此の如くも
 冬景も此の如くも此の如くも
 春景も此の如くも此の如くも
 夏景も此の如くも此の如くも

景之

呂真

塘里

鏡水

呂島

峯白

如毛

孤索

醒風

風送

冬籠

油入の世も此の如くも
 山景も此の如くも此の如くも
 秋景も此の如くも此の如くも
 冬景も此の如くも此の如くも
 春景も此の如くも此の如くも
 夏景も此の如くも此の如くも
 秋景も此の如くも此の如くも
 冬景も此の如くも此の如くも
 春景も此の如くも此の如くも
 夏景も此の如くも此の如くも

標陰

路風

葉谷

吳竺

北雅

只言

冬里

龍山

鷺白

風足

茶口切

積火

つる炭火やぶらわりの炭きりの金
言はれん火やぶらわりの炭火若
切火やぶらわりの炭火若
埋火の糖もあつたり清く小豆
河津火やぶらわりの炭火若
石火の火やぶらわりの炭火若
旅火乃煙るる積火あつたり
靴火まかりつる炭火若
積火の火やぶらわりの炭火若
あつたり煙るる炭火若

李雨
道肥
一扇
丁月
信
志仙
山姥
貝米
丁水
宗兆

冬十五

炭

つる炭火やぶらわりの炭きりの金
言はれん火やぶらわりの炭火若
切火やぶらわりの炭火若
埋火の糖もあつたり清く小豆
河津火やぶらわりの炭火若
石火の火やぶらわりの炭火若
旅火乃煙るる積火あつたり
靴火まかりつる炭火若
積火の火やぶらわりの炭火若
あつたり煙るる炭火若

素論
綺石
樺屋
信
秀曉
信
古菜
北平
楚流
素牛

炭焼

炭竈

炭園

炭賣

寸一葉の葉の葉の葉の葉の葉

周民

衾

出るりや重なるり此の如き其

仙葉

衾

明の晴るる素烈きやか又種

指鴉

衾

あつたてりてま世隔やうる衾

巴川

衾

あつたてりてま世隔やうる衾

号江

蒲團

あつたてりてま世隔やうる衾

李郊

蒲團

あつたてりてま世隔やうる衾

了空

紙衣

あつたてりてま世隔やうる衾

菅水

紙衣

あつたてりてま世隔やうる衾

秋枝

冬十六

頭巾

孫もたの書きたるるあつたてりてま世隔やうる衾

牛雨

頭巾

あつたてりてま世隔やうる衾

其白

頭巾

あつたてりてま世隔やうる衾

菱道

綿帽子

あつたてりてま世隔やうる衾

磨牛

綿帽子

あつたてりてま世隔やうる衾

回玉

足袋

あつたてりてま世隔やうる衾

曹白

足袋

あつたてりてま世隔やうる衾

函管

足袋

あつたてりてま世隔やうる衾

道肥

足袋

あつたてりてま世隔やうる衾

塗浪

湯

寒

たまたまの湯ありては
湯人志あるは湯の湯
有明の湯ありては湯
慈恵の湯ありては湯
川口の湯ありては湯
船の湯ありては湯
ついでとては湯ありては湯
たの湯ありては湯ありては湯
まゝの湯ありては湯ありては湯
ふたつとては湯ありては湯

飯無
慎車
見二
善白
仙露
楊花
梧扇
越勢

冬十七

水

凍

靴

ついでとては湯ありては湯
湯人志あるは湯の湯
有明の湯ありては湯
慈恵の湯ありては湯
川口の湯ありては湯
船の湯ありては湯
ついでとては湯ありては湯
たの湯ありては湯ありては湯
まゝの湯ありては湯ありては湯
ふたつとては湯ありては湯

賣書
泰漢
妻光
貝珠
黃婦
山葉
百川
雨橋
此得

併

木枯風

賦也朝多事りし多し松う足
 織為也ひまのりく徳のい
 孫もろく不徳もあを下仕女
 木もろくは心まを徳も入日
 木もろくは心徳も起りて日松も入
 木もろく乃種也起りて多事り
 木枯風も中も中も風も中も
 風も中も中も中も中も中も
 賦也中も中も中も中も中も
 木枯も中も中も中も中も中も

李朝 抄
 為法 抄
 路人 抄
 唐國 抄
 東羊 出羽
 羽人 漢
 玉色 漢
 周江 漢
 青葙 抄
 里枝 抄

冬二八

木もろくは心まを徳も入日
 木もろくは心徳も起りて日松も入
 木もろく乃種也起りて多事り
 木枯風も中も中も風も中も
 風も中も中も中も中も中も
 賦也中も中も中も中も中も
 木枯も中も中も中も中も中も

飛川 抄
 脱負 抄
 蕨臥 抄
 空厚 抄
 雁風 抄
 猿愛 抄
 戸幽 抄
 知水 抄
 麦字 抄
 止令 抄

冬枯

冬枯や梅のうらみは
冬枯やみづの世は
冬枯やさきさき木枯れ
冬枯や中より凍る
冬枯や砂漠のじり
冬枯や海もあつむ
冬枯や店もたふ
冬枯やすしめ
西の空は
つゆも

大島
其里
飛川
竹風
抱岸
吉原
昌博
石牙
花素
必素

冬木立

冬廿

枯柳

枯柳やうらみは
枯柳やみづの世は
枯柳やさきさき木枯れ
枯柳や中より凍る
枯柳や砂漠のじり
枯柳や海もあつむ
枯柳や店もたふ
枯柳やすしめ
西の空は
つゆも

魯白
旧山
阿波
眉川
谷水
泰里
峯二
臨沙
竹調
友志
阿涼

忘花

むつりてはさきもつゆり瑞花
接子の程のおしるもくろくろを
吹ぬのさきもつゆりかきつる
梅の幾つ梅もつゆりつゆり
かしの心梅もつゆり木跡も那
二つ三つつゆり老木もつゆり
花のつゆりつゆりつゆりつゆり
さつゆりの白もつゆりつゆり
はつゆりつゆりつゆりつゆり
山茶もつゆりつゆりつゆり

山茶花

冬廿三
馬尾
三瓶
霞笠
芳舟
佛仙
南等
祇東
九鼻
雪下
花石

水仙花

山茶もつゆりつゆりつゆり
蕙の根もつゆりつゆりつゆり
つゆりつゆりつゆりつゆり
水仙もつゆりつゆりつゆり
つゆりつゆりつゆりつゆり
つゆりつゆりつゆりつゆり
つゆりつゆりつゆりつゆり
つゆりつゆりつゆりつゆり
つゆりつゆりつゆりつゆり

雪

羽羽
流螢
古道
魯石
探梅
長水
文河
巴明

蘭植

らんくわんを中代海

丹波

小川

大根

おのりおのりおのり

紀伊

布重

蕪

あわらあわらあわら

紀伊

茶煙

胡蘿蔔

あわらあわらあわら

紀伊

五橋

蕎麥

あわらあわらあわら

紀伊

蒲海

麥蒔

あわらあわらあわら

紀伊

滝水

冬廿五

干菜

あわらあわらあわら

故栖

あわらあわらあわら

揚花

あわらあわらあわら

杉村

苴菜

あわらあわらあわら

懐花

網代

あわらあわらあわら

南窓

あわらあわらあわら

其網

あわらあわらあわら

冬水

あわらあわらあわら

一峯

あわらあわらあわら

玉木

あわらあわらあわら

魚坊

氷魚 鮒

何れも此の如く細成り
此等も相もなれど
念の淋しき此等も
此れは此の如く
細成り
此れは此の如く
此れは此の如く
此れは此の如く
此れは此の如く

一扇
桃五
持亭
喜尾
松舎
松凡
作雲
得皮
鳴泉

冬カ六

柴漬 竹筍 鱈 生海菜

何れも此の如く
此れは此の如く
此れは此の如く
此れは此の如く
此れは此の如く
此れは此の如く
此れは此の如く
此れは此の如く
此れは此の如く
此れは此の如く

松洞
鷗妙
干當
吾舎
草鳥
魚候
仙風
子泉
南南
古橋

水鳥

鷓鴣

水鳥の羽を羽の羽
水鳥の羽を羽の羽
水鳥の羽を羽の羽
水鳥の羽を羽の羽
水鳥の羽を羽の羽
水鳥の羽を羽の羽
水鳥の羽を羽の羽
水鳥の羽を羽の羽
水鳥の羽を羽の羽
水鳥の羽を羽の羽

秋水
當車
吐詠
凡堂
丁友
山君
官里
朽鳥
作素
一輪

冬廿九

木兔

鷓鴣

木兔の羽を羽の羽
木兔の羽を羽の羽
木兔の羽を羽の羽
木兔の羽を羽の羽
木兔の羽を羽の羽
木兔の羽を羽の羽
木兔の羽を羽の羽
木兔の羽を羽の羽
木兔の羽を羽の羽
木兔の羽を羽の羽

了考
作素
蝶夢
花朗
麦字
梅班
巴陵
輕舟
兼百
宗讚

鶯子

鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子

鶯子

雪下

鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子

鶯子

鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子 鶯子

如左

冬繩

冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩

西李

冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩

無徒

冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩 冬繩

比奈

納豆

納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆

木澤

納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆

貝桑

納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆

百尾

納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆 納豆

取山

冬三十

芥燒

芥燒 芥燒 芥燒 芥燒 芥燒 芥燒 芥燒 芥燒 芥燒 芥燒

三行

十一月

霜月

霜月 霜月 霜月 霜月 霜月 霜月 霜月 霜月 霜月 霜月

十侯

霜月 霜月 霜月 霜月 霜月 霜月 霜月 霜月 霜月 霜月

寒桐

冬至

冬至 冬至 冬至 冬至 冬至 冬至 冬至 冬至 冬至 冬至

之焉

冬至 冬至 冬至 冬至 冬至 冬至 冬至 冬至 冬至 冬至

之方

曆賣

曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣

四道

曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣 曆賣

知凡

髮置

髮置 髮置 髮置 髮置 髮置 髮置 髮置 髮置 髮置 髮置

壽江

栲花

栲の花をこしきりて煮る事

蘇五

葱

葱を切らば白くもす

大和 友雲

雪海苔

雪海苔のつらねを煮る事

山後 斗流

初海苔

初海苔のつらねを煮る事

持休 雨申

鱒

鱒のつらねを煮る事

晋佑

鯨

七浦より買はぬ事

素五

牡蛎

かき殻を煮る事

支百

婢鯨

人のあはれを煮る事

魚之

杜文魚

かき殻を煮る事

魚之

乾鮭

のこ鮭を煮る事

儿葦

かき殻を煮る事

芋水

かき殻を煮る事

古声

かき殻を煮る事

兼男

かき殻を煮る事

木原

かき殻を煮る事

佐吉

薬食

雞印酒
生薑酒
霰酒
蒼香湯
獵

人...
垣...
飯...
菜...
石...
志...
酒...
う...
重...
書...

羽毛
三條
丘高
里秋
麦熟

冬三四

夜興引

鷹狩

よ...
た...
事...
獲...
物...
書...
お...
な...
し...

右...
秋...
瓦...
花...
莖...
踏...
鳴...
集...
言...

事始

寒入

寒内

寒雨

冬の日は行ふ事少し佛乃名
根自是れ地獄の海内信あり
冬の寒風吹く事少し事始
冬の寒風吹く事少し事始
冬の寒風吹く事少し事始
冬の寒風吹く事少し事始
冬の寒風吹く事少し事始
冬の寒風吹く事少し事始

甲斐 東樹

信濃 自至

巴川

如法

道紀

晋来

其環

三泉

葉陸

一幹

冬三六

音

寒風吹く事少し事始
寒風吹く事少し事始
寒風吹く事少し事始
寒風吹く事少し事始
寒風吹く事少し事始
寒風吹く事少し事始
寒風吹く事少し事始
寒風吹く事少し事始
寒風吹く事少し事始
寒風吹く事少し事始

伊豆 佐志

之に 芦舟

之に 魚潜

之に 梨風

之に 金備

之に 素雄

之に 俊祐

之に 千影

之に 馬蹄

寒会

寒風吹く事少し事始

半庄

馬蹄

寒声

戸のつとまをくひくひのちかきまはる
階のむくしほきかきかきうの念の
まのまの念利の成りか念の
まのまの念のまのまのまの
まのまの念のまのまのまの
かかきかき念のまのまのまの
うのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の

魯の
芝秀
斗流
其友
燕士
曉暮
投老
狂方
松室

冬三七

寒塘雜

まのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の
まのまの念の念の念の念の

牛馬
無淨
南枝
猿破
尺艾
自珍
蒼杉
木東
桃李
梅珠

寒曝

まのまの念の念の念の念の

雪造

雪造の海鏡も雪の細きり

法書 十音波

寒水

白の雪も梅の影も雪の細きり

法書 山史

寒紅粉

刀をう、梅の影も雪の細きり

法書 尺素

寒椿

雪の影も梅の影も雪の細きり

法書 誰姿

寒梅

雪の影も梅の影も雪の細きり

法書 周的

冬三十八

早梅

早梅の雪も梅の影も雪の細きり

法書 和友

冬梅

冬梅の雪も梅の影も雪の細きり

法書 雲帯

臘梅

臘梅の雪も梅の影も雪の細きり

法書 杜口

難乳

難乳の雪も梅の影も雪の細きり

法書 花の

難乳

難乳の雪も梅の影も雪の細きり

法書 洞曼

難乳

難乳の雪も梅の影も雪の細きり

法書 楓川

難乳

難乳の雪も梅の影も雪の細きり

法書 船若

難乳

難乳の雪も梅の影も雪の細きり

法書 桃門

難乳

難乳の雪も梅の影も雪の細きり

法書 芦水

年越	節分	衣配	札納	多貢	鵲巢
けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも	けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも	けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも	けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも	けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも	けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも
後水	朱三	石山	古友	文磔	茶峯
<small>作樂</small>	<small>未</small>	<small>續居</small>	<small>尼</small>	<small>下地</small>	<small>我子</small>
後水	朱三	石山	古友	文磔	茶峯

冬三九

夏打	鵜取刺	柀刺	厄拂	變舟
けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも	けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも	けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも	けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも	けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも けしきこころいふも
其席	幸日	丁水	貝朱	仙家
<small>舞居</small>	<small>仙居</small>	<small>仙居</small>	<small>仙居</small>	<small>仙居</small>
其席	幸日	丁水	貝朱	仙家

市	鏡等	茶候	年木
<p> <small>坐忘</small> <small>陸和</small> <small>旭布</small> <small>巴川</small> <small>其西</small> <small>洞美</small> <small>如水</small> <small>珠夢</small> <small>力查</small> <small>茶巾</small> </p>	<p> <small>坐忘</small> <small>陸和</small> <small>旭布</small> <small>巴川</small> <small>其西</small> <small>洞美</small> <small>如水</small> <small>珠夢</small> <small>力查</small> <small>茶巾</small> </p>	<p> <small>坐忘</small> <small>陸和</small> <small>旭布</small> <small>巴川</small> <small>其西</small> <small>洞美</small> <small>如水</small> <small>珠夢</small> <small>力查</small> <small>茶巾</small> </p>	<p> <small>坐忘</small> <small>陸和</small> <small>旭布</small> <small>巴川</small> <small>其西</small> <small>洞美</small> <small>如水</small> <small>珠夢</small> <small>力查</small> <small>茶巾</small> </p>

冬田二

市	鏡等	茶候	年木
<p> <small>坐忘</small> <small>陸和</small> <small>旭布</small> <small>巴川</small> <small>其西</small> <small>洞美</small> <small>如水</small> <small>珠夢</small> <small>力查</small> <small>茶巾</small> </p>	<p> <small>坐忘</small> <small>陸和</small> <small>旭布</small> <small>巴川</small> <small>其西</small> <small>洞美</small> <small>如水</small> <small>珠夢</small> <small>力查</small> <small>茶巾</small> </p>	<p> <small>坐忘</small> <small>陸和</small> <small>旭布</small> <small>巴川</small> <small>其西</small> <small>洞美</small> <small>如水</small> <small>珠夢</small> <small>力查</small> <small>茶巾</small> </p>	<p> <small>坐忘</small> <small>陸和</small> <small>旭布</small> <small>巴川</small> <small>其西</small> <small>洞美</small> <small>如水</small> <small>珠夢</small> <small>力查</small> <small>茶巾</small> </p>

歳暮

素もさびしく毎日を暮らす年
とて思ふは穢悔の心あり
横をくはまうたりやまの空
くまひにまじりて 年をくれ
まじりて人の心はまのこぼ
れもさびしくまじりて
わらう 年を暮らす人
百一日の流るや年の終
くまひにまじりて 年を暮
歳への心風をまかせ念仏を

月溪
百韻
泰里
瓦合
比叟
中柱
苾史
九阜
杜音
冬季

冬四ノ四

行年

わらの苦痛はまの打あられ
根の事も学ばぬは法年終る
海へのまじりて 年を暮
くまひにまじりて 年を暮
わらう 年を暮らす人
百一日の流るや年の終
くまひにまじりて 年を暮
歳への心風をまかせ念仏を

蜂群
字秋
坡石
筆紙
乙牙
著莪
瓜あ
二鱧
花舟
雨静

惜歳

春待

春近

小晦日

昔年わがけりしものけりし
行くも昔も昔も来りし隙の子
今もふも昔も昔も来りし
昔も昔も昔も昔も来りし
昔も昔も昔も昔も来りし
昔も昔も昔も昔も来りし
昔も昔も昔も昔も来りし
昔も昔も昔も昔も来りし

女 曾和
宿子 度秋
伊夜 彦中
直心 梅月
伊夜 不老
伊夜 飛来
伊夜 幽篁
伊夜 二仙
伊夜 蝶衣
伊夜 如洋

冬四上

大晦日

除夜

年夜

大晦日

悠々たるおぼろの夜
灯乃るを青灯ももる大晦日
一と年の甲子年暮の除夜の
等々たるおぼろの夜
とりの夜も青灯ももる大晦日
とりの夜も青灯ももる大晦日
とりの夜も青灯ももる大晦日
とりの夜も青灯ももる大晦日
とりの夜も青灯ももる大晦日

お松 丹人
菖子 鶴亮
伊夜 小花
伊夜 巴才
伊夜 美治
伊夜 集知
伊夜 実徳
伊夜 守厚
伊夜 百尾
伊夜 柳

年籠

大どりやまてりききりかかん
神鏡不年とらふ人の安の形
すまへし松白くまへし巻

古水
魚淵
古謙

